

令和2年度福島原子力災害復興交付金事業計画書

(基金の運用計画)

(単位：千円)

事業区分	基金の保有区分	令和2年度 当初保管額	運用益繰入 予定額	令和2年度 支出予定額	令和2年度 年度末保管予定額
令和2年度 福島原子力災害復興交付金 事業	福島原子力災害復興 勘定	80,040,697	6,743	4,652,878	75,394,562
合計		80,040,697	6,743	4,652,878	75,394,562

- ※ 本表は基金の保有区分ごとに記載すること
- ※ 基金の保有区分は基金管理運営要領第3の2で定める「基金の運用方法」を参考に記載すること
- ※ 運用益繰入予定額は保有区分ごとの利率を参考に見込み額を記載すること

令和2年度福島原子力災害復興交付金事業計画書

事業名	事業実施主体	事業経費（千円）			目標	事業計画 (事業の目的・内容・完了予定期日、 経費の使用方法・算出根拠を含む。)
		基金充当費	単独経費	合計		
避難地域復興拠点推進事業	避難地域12市町村	1,300,000	0	1,300,000	避難地域12市町村における復興拠点づくりを支援 ※交付要綱第4条第1項第一号(3)(5)に該当	【内容】 避難地域12市町村で計画されている復興拠点づくりについて、福島再生加速化交付金等の既存の国庫補助制度等において対象とならない事業を対象に交付金を交付する。 【完了予定時期】 令和3年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金 1,300,000千円
復興まちづくり加速支援事業(避難解除等区域商業機能回	県	107,052	0	107,052	避難解除等区域における公設商業施設の運営を支援 ※交付要綱第4条第1項第	【内容】 避難解除等区域において、商業施設を整備し運営する市町村に対し、運営に係る費用の一部を補助する。 【完了予定時期】 令和3年3月

復促進事業)					四号及び第3項ただし書き福島県全域の復興並びに地域の自立を効果的に進める事業に該当	【経費】 負担金、補助及び交付金ほか 107,052 千円
I C T 等を活用した介護現場生産性向上支援事業	県	53,364	23,177	76,541	本県の復興をけん引する産業として重視している福祉施設へのロボットの導入 ※交付要綱第4条第1項第2号(3)医療及びエネルギー関連等に係る重点産業の進出支援事業に該当	【内容】 介護職員の確保が厳しさを増していく中、介護職員の離職防止と定着促進を図るとともに、介護施設の人材不足を補うため、I C T 等を活用した業務効率化など働きやすい職場環境づくりに取り組む。 【完了予定時期】 令和3年3月 【経費】 委託料 53,364 千円

避難農業者 経営再開支 援事業	県	35,077	0	35,077	避難農業者の 生活再建を支 援 ※交付要綱第 4条第1項第 四号及び第3 項ただし書き 福島県全域の 復興並びに地 域の自立を効 果的に進める 事業に該当	<b>【内容】</b> 避難農業者が原子力被災12市町村外(県外を含む)の移住先や避難 先で営農を開始する際に必要な農業用機械、施設等の導入に必要な経 費を補助し、生活再建を支援する。 <b>【完了予定時期】</b> 令和3年3月 <b>【経費】</b> 負担金、補助及び交付金ほか 35,077 千円
ふるさとふ くしま帰還・ 生活再建支 援事業	県	20,000	28,151	48,151	避難者の帰還 と恒久住宅へ の円滑な移行 を支援 ※交付要綱第 4条第1項第 四号及び第3 項ただし書き 福島県全域の 復興並びに地	<b>【内容】</b> 市町村が福島県の定める要件(平成27年9月5日以降に避難指示解除 された地域で、応急仮設住宅供与終了までに当該市町村に帰還した世帯) に基づき、応急仮設住宅等を退去し、避難元である市町村に帰還した世帯 の移転等費用に対して支援する場合に、県が市町村に対して必要な経費を 補助する(ただし、市町村の判断により県が定める要件以外の帰還世帯に 対しても支援できることとする。) <b>【完了予定時期】</b> 令和3年3月 <b>【経費】</b>

					域の自立を効果的に進める事業に該当	負担金、補助及び交付金 20,000 千円 ※ 基金充当費は、移転に伴う費用の補助及び民間賃貸住宅等の家賃の一部補助にかかる経費 (20,000 千円)。 単独経費は、それ以外の経費 (28,158 千円)。
チャレンジ！ 子どもがふみだす体験活動 応援事業 (「ふくしまの心」を育む 自然体験事業)	県	18,868	270,441	289,309	東日本大震災の経験を踏まえ、再発見した郷土の良さを伝え会い発信していくような交流活動を行うとともに充実した自然体験活動等を行う機会を提供し、子どもたちの豊かな人間性や生きる力の育成を図る。 ※交付要綱第4条第1項第三号	【内容】 子どもの豊かな人間性や生き抜く力を育むための自然体験活動等にかかる、体験活動費、交通費、宿泊費等に対し定額の補助を行う。 【完了予定時期】 令和3年3月 【経費】 委託料ほか 18,868 千円 ※ 基金充当費は、幼児から中学生がよりよい環境のもとで自然体験活動を実施する場合に交付する補助にかかる経費 (18,868 千円)。 単独経費は、それ以外の経費 (270,441 千円)。

					事業（３）風評 払拭に資するソ フト事業に該当	
中小企業等 復旧・復興支 援事業	県	239,978	0	239,978	被災中小企業 者の事業再開 を支援し、地域 の総合的な復 旧・復興を図 る。 ※交付要綱第 ４条第１項第 ４号及び第３ 項ただし書き 福島県全域の 復興並びに地 域の自立を効 果的に進める 事業に該当	<p><b>【内容】</b> 東日本大震災で被災した中小企業者が県内で事業を再開・継続するため、空き工場・空き店舗等を借り上げる際に必要となる賃借料などに対して補助する。</p> <p><b>【完了予定時期】</b> 令和３年３月</p> <p><b>【経費】</b> 負担金、補助及び交付金 239,978 千円</p>
震災関係制 度資金推進	県	395,937	0	395,937	東日本大震災 及び原子力災	<p><b>【内容】</b> 震災関係制度資金にかかる県信用保証協会の保証料の引下げに対する</p>

事業					害により事業活動に影響を受けている中小企業者を支援 ※交付要綱第4条第1項第四号福島県全域の復興並びに地域の自立を効果的に進める事業に該当	補助及び代位弁済が発生した場合の損失補償を行う。 【完了予定時期】 令和3年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金ほか 395,937千円
チャレンジ ふくしま再生可能エネルギー普及 拡大事業(住宅用太陽光発電設備設置補助事業)	県	897,608	227,977	1,125,585	再生可能エネルギー設備導入の促進 ※交付要綱第4条第3項ただし書き医療及びエネルギー関連等に係	【内容】 一般家庭における再生可能エネルギー設備導入の支援を目的とし、住宅用太陽光発電設備等の設置にかかる初期投資費用の軽減を図るため、県内に所在する住宅に太陽光発電設備等を設置しようとする個人等に対し、設備導入経費の一部を補助する。 【完了予定時期】 令和3年3月 【経費】

					る重点産業の 進出支援事業 に該当	負担金、補助及び交付金ほか 897,608 千円  ※ 基金充当費は、住宅用太陽光発電設備等設置への補助にかかる経費 (897,608 千円)。  単独経費は、それ以外の経費 (227,977 千円)。
医療施設用 ロボット等 導入促進事 業	県	62,376	0	62,376	本県の復興を けん引する産 業として重視 している医療 施設へのロボ ットの導入  ※交付要綱第 4条第1項第 二号(3)医療 及びエネルギー 関連等に係 る重点産業の 進出支援事業 に該当	【内容】 医療施設用ロボット等の無償貸与を行うことで、それを活用できる理学 療法士等のリハビリスタッフを育成するとともに、検証結果の有効性を医 療機関の経営者等に説明することで、導入の促進に繋げる。  【完了予定時期】 令和3年3月  【経費】 委託料ほか 62,376 千円



<p>チャレンジ ふくしま「ロ ボット産業 革命の地」創 出事業</p>	<p>県</p>	<p>493,461</p>	<p>5</p>	<p>493,466</p>	<p>本県の復興を けん引する産 業として重視 しているロボ ット産業の集 積 ※交付要綱第 4条第1項第 二号(3)医療 及びエネルギー 関連等に係 る重点産業の 進出支援事業 に該当</p>	<p>1 ロボット関連産業基盤強化事業 【内容】 県内に本社、研究、生産拠点が所在する企業に対し、ロボットの要素技術開発や実証に係る経費を助成するとともに、事業成果の周知・広報を図る成果発表会を開催する。 【完了予定時期】 令和3年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金ほか 123,554千円</p> <p>2 産学連携ロボット研究開発支援事業 【内容】 産学連携による技術開発を促進するため、ふくしまロボット産業推進協議会と連動し、県内ロボット関連企業と共同研究を行う大学に対し、補助(定額)を行う。 【完了予定時期】 令和3年3月 【経費】 負担金、補助及び交付金ほか 232,615千円</p> <p>3 自律走行用自己位置推定システム開発事業 【内容】</p>
--	----------	----------------	----------	----------------	---	---

					<p>ハイテクプラザにおいて屋外自律走行ロボット用自己位置推定システムの開発・検証を行い、ロボット関連県内企業等へ研究成果の普及・移転を図る。</p> <p><b>【完了予定時期】</b> 令和3年3月</p> <p><b>【経費】</b> 備品購入費ほか 8,571 千円</p> <p>4 ロボットビジョンシステム研究開発事業</p> <p><b>【内容】</b> ハイテクプラザ南相馬技術支援センターにおいて、福島ロボットテストフィールドの機能を活用し、インフラ点検用ロボットビジョンシステムの研究開発を行い、県内企業等への成果移転を図る。</p> <p><b>【完了予定時期】</b> 令和3年3月</p> <p><b>【経費】</b> 備品購入費ほか 12,081 千円</p> <p>5 県産ロボット導入支援事業</p> <p><b>【内容】</b> 県産ロボットの導入補助によって、県内企業のロボット関連産業への参入意欲を高め、その産業集積を図る。</p>
--	--	--	--	--	---

					<p><b>【完了予定時期】</b> 令和3年3月</p> <p><b>【経費】</b> 委託料ほか 37,126 千円</p> <p>6 ロボットフェスタふくしま開催事業</p> <p><b>【内容】</b> 最先端のロボットや県内で開発が進められる各種ロボットの展示・実演等を行い、県内企業の商談の場を提供するとともに、各種体験イベント等を通じ、若い世代を中心とした県民参加を図る「ロボットフェスタふくしま」を開催する。</p> <p><b>【完了予定時期】</b> 令和3年3月</p> <p><b>【経費】</b> 委託料ほか 33,666 千円</p> <p>7 ふくしまロボット産業推進協議会事業</p> <p><b>【内容】</b> 産学官連携の下、会員相互交流の活性化と技術基盤の強化に取り組み、ロボット関連産業の集積と取引の拡大を図る。</p> <p><b>【完了予定時期】</b> 令和3年3月</p>
--	--	--	--	--	---

						<p><b>【経費】</b> 委託料ほか 42,764 千円 ※ 基金充当費は、推進協議会運営にかかる経費（42,759 千円）。 単独経費は、それ以外の経費（5 千円）。</p> <p>8 ロボット関連技術実証等支援事業</p> <p><b>【内容】</b> 県内企業が福島ロボットテストフィールドを使用して行う実証実験等に要する経費について助成する。</p> <p><b>【完了予定時期】</b> 令和3年3月</p> <p><b>【経費】</b> 委託料ほか 3,089 千円</p>
教育旅行復興事業	県	227,911	75,940	303,851	<p>原子力災害の風評払拭による本県への教育旅行の人数増加 ※交付要綱第4条第1項第3号(2)教育</p>	<p>1 教育旅行復興事業</p> <p><b>【内容】</b> 学校行事の一環として福島県内で宿泊を伴う教育旅行を実施する県外の小中高等学校に対し、その移動に係るバス経費の一部補助を行う。</p> <p><b>【完了予定時期】</b> 令和3年3月</p> <p><b>【経費】</b> 負担金、補助及び交付金ほか 207,088 千円</p>

				旅行回復支援 事業に該当	<p>2 教育旅行誘致促進事業</p> <p>【内容】 小中高等学校、旅行代理店等を対象とした誘致キャラバンを実施するとともに、本県で教育旅行を実施した学校への取材や県内教育旅行の入込調査を実施する。</p> <p>【完了予定時期】 令和3年3月</p> <p>【経費】 委託料ほか 13,406千円</p> <p>3 国際教育旅行等誘致促進事業</p> <p>【内容】 東アジア地域において福島県教育旅行セミナーを開催し、本県の正しい情報や教育旅行素材のPR等を行うとともに、教育旅行関係者を招へいして本県の現状を発信し、教育旅行実施につなげる。</p> <p>【完成予定時期】 令和3年3月</p> <p>【経費】 委託料ほか 7,417千円</p> <p>※ 基金充当費は、誘致キャラバンや情報収集・発信、県外の学校が教育</p>
--	--	--	--	-----------------	--

						<p>旅行に関して県内で活動する場合に交付する補助にかかる経費(227,911千円)。          単独経費は、それ以外の経費(75,940千円)。</p>
<p>チャレンジ           Fukushima 戦略的          情報発信事業</p>	<p>県</p>	<p>501,246</p>	<p>867</p>	<p>502,113</p>	<p>根強く残る風評の払拭と、時間の経過とともに加速する風化の防止          ※交付要綱第4条第1項第三号事業(3)          風評払拭に資するソフト事業に該当</p>	<p>1 庁内連携強化事業  <b>【内容】</b>          風評・風化対策プロジェクトチーム等による庁内連携の強化、県クリエイティブディレクターの助言による統一感のある効果的な情報発信などを実施する。  <b>【完了予定時期】</b>          令和3年3月  <b>【経費】</b>          負担金、補助及び交付金ほか 34,697千円</p> <p>2 国内外への正確な情報発信事業  <b>【内容】</b>          テレビ、新聞等を活用した県民に対する復興状況の発信、全国各地で開催する「チャレンジ Fukushima フォーラム」、大学生との共働による情報発信や県内市町村と連携した首都圏でのプロモーション活動、YouTube 動画及び SNS の活用による本県の現状と復興への取組、食と観光の魅力等の国内外への発信などを実施する。</p>

						<p>【完了予定時期】 令和3年3月</p> <p>【経費】 役務費ほか 428,941千円</p> <p>3 “知るほどたのしい、ふくしま”企業連携プロジェクト</p> <p>【内容】 本県の現状や復興状況、更には世界に誇る魅力を、発進力の高い全国展開企業等とのタイアップにより、「知るほどたのしい、ふくしま」のコンセプトで様々な連携プロジェクトを展開する。</p> <p>【完了予定時期】 令和3年3月</p> <p>【経費】 委託料ほか 37,608千円</p>
常磐自動車道追加インターチェンジ整備事業	県、双葉町	300,000	0	300,000	<p>双葉町民の帰還、復興拠点における各種施策の加速化を支援</p> <p>※交付要綱第4条第1項第</p>	<p>【内容】 常磐自動車道への連結許可を受けた双葉ICの整備について、事業主体となる双葉町に対し交付金を交付すると共に、事業の円滑な執行を図るため、調査業務等の一部を県が実施する。</p> <p>【完了予定時期】 令和3年3月</p> <p>【経費】</p>

					四号福島県全 域の復興並び に地域の自立 を効果的に進 める事業に該 当	負担金、補助金及び交付金 300,000 千円
(計)		4,652,878	626,558	5,279,436		